

会 議 録

会議の名称	令和 5 年度第 1 回飯塚市公民館運営審議会
開催日時	令和 5 年 7 月 27 日 (木) 午後 2 時 00 分～午後 2 時 45 分まで
開催場所	中央公民館 2 階 展示ホール
出席委員	下田 稔、津野 真須美、渡邊 秀人、白土 正敏、城戸 千秋、福澤 達男、吉田 直樹、池本 武富士、北富 妙子、堀江 鈴子、小池 千津子、伊佐 便 以上 12 名
欠席委員	荒木 尚友
事務局職員	生涯学習課長 中村 達也 生涯学習課長補佐 石川 律子 生涯学習課 中央公民館・図書館係長 村岡 剛 生涯学習課 中央公民館・図書館係 黒川 明博

会議内容	<p>定刻に至り、事務局より開会を告げた後、審議に入る前に以下の進行を行った。</p> <p>(1) 委員紹介 (委員の改選がないため省略)</p> <p>(2) 教育委員会挨拶 生涯学習課長 (中村) からのあいさつ</p> <p>(3) 本審議会の運営について 「飯塚市公民館運営審議会」の設置及び開催根拠を社会教育法 (抜粋) 及び飯塚市公民館条例 (抜粋) にて説明 また、飯塚市の生涯学習における中央公民館の位置づけについて、「飯塚市の生涯学習体系 (令和 5 年 3 月作成)」を参考に説明</p> <p>【議 題】 委員長・副委員長については、昨年同様、委員長を下田委員、副委員長を津野委員に依頼</p> <p>以下の議事は下田委員長が進行</p> <p>(1) 令和 5 年度生涯学習課所管事務の概要について (報告事項) 資料を基に、係内の人員変更の件や指定管理図書館の増加に伴う、組織図の変更について説明を行った。また、事務事業の概要として、学社連携、図書館、青少年育成、高齢者の生きがい作りについて過去の実績や現状を踏まえ報告を行った。</p> <p style="text-align: center;">⇒質問及び意見なし</p>
------	---

(2) 令和5年度飯塚市中央公民館事業計画について

資料を基に、中央公民館及び12地区交流センターにおける、サークル、講座の実施状況について、実施種目や参加人数等の説明を行った。

また、中央公民館系の事業進捗状況について、コスモス大学、中央公民館講座、生涯学習ひろば講座、いっぴか市民マナビネットワーク、コミセンまつり、二十歳を祝う会について、過去の実績や現状を踏まえ報告を行った。(詳細は以下のとおり)

(ア) コスモス大学

今年度から専門コースに加え、基礎コース(一般教養)を再開

(イ) 中央公民館講座

忘災ワークショップ(6月24日)、STEAM教育講座(7月16日～17日)を実施

(ウ) 生涯学習ひろば講座

スマホ講座等を予定

(エ) いっぴか市民マナビネットワーク

6月の総会時に、有志指導者として10年間活動された方を対象に、表彰状及び記念品の贈呈を行った。

(オ) コミセンまつり

新たな試みとして「お試し教室体験会」を実施
5ブース中1ブースが開講となった。

(カ) 二十歳を祝う会

今年度は1月7日(日)コスモスコモンにて開催
対象者は6月末時点で1175名

⇒質問及び意見なし

(3) 令和5年度飯塚市生涯学習課事業年間スケジュールについて

少年の船、サイエンスモール、子どもの読書習慣形成・定着支援事業、施設改修及び整備事業、嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラムについて、過去の実績や現状を踏まえ説明を行った。(詳細は以下のとおり)

(ア) 少年の船

今年度3年ぶりに開催

例年4泊5日であるが、今年度は3泊4日となっている。

移動手段として、通常、船を利用しているが、今年度は飛行機で沖縄へ向かう予定

(イ) サイエンスモール

今年度は8月と9月に分けて開催

(8月：リフレッシュ理科教室、科学広場)

(9月：理科読)

(ウ) 子どもの読書習慣形成・定着支援事業

「家読」の依頼や読書活動を推進する講演会を実施予定

(エ) 施設改修及び整備事業

今年度は庄内図書館の整備と、イイツカコミュニティセンターの大規模改修工事（設計委託）を実施予定

(オ) 嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム

飯塚市、嘉麻市、桂川町在住の中学2年生を対象

現在申込者を募集している。

⇒質問及び意見なし

(4) イイツカコミュニティセンター大規模改修工事の実施について

イイツカコミュニティセンターについては、開館から25年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる状況である。今後も「快適な環境」と「施設の安全性」を維持するため、大規模改修工事を実施することとなった。

現在、入札を経て決定した設計業者と協議を重ねている状況であり、設計期間は令和6年5月までを予定している。

工事期間については、令和6年度の冬頃からおおむね1年間を予定しており、工事期間は休館とする。

工事期間中における、事務所の移転先等は現在検討中のため、進捗があれば改めて報告を行う。

⇒質問及び意見なし

(5) その他

⇒委員より質問・意見要望

① (委員A)

令和5年度教育部（生涯学習課）事業進捗状況の資料について、文字が小さくて読みづらい。もう少し大きく印刷ができないだろうか。

(生涯学習課長補佐)

他の委員会でも同じ資料を配布しているが、同様の指摘をいただいている。今後については、読みやすい字での印刷を徹底する。

② (委員B)

本会議とは別問題だが、各地区の交流センターにおいて指定管理の導入が検討されている。それについて、皆さんはどういう考えをお持ち

ちか聞きたい。今書類をもらっており、12月までに返事をくれという話になっているみたいだが、なかなか検討がつかない。

(委員長)

皆さんいかがでしょうか。私も鎮西地区の委員会のメンバーであるがすべてを把握できていない。

(委員B)

指定管理となることでのメリットやデメリットをわかりやすく提示してもらえば参考にはできるのだが、話を聞いただけでは検討が難しい。また、各交流センターで物品販売ができるようになるとのことだが、交流センターごとに駐車場の広さも違うわけだし、同条件ではなかなか簡単にはいかないような気がしている。

(委員長)

今後については、まちづくり協議会と話しながら各地区でどのように進めていくか話し合ってもらいたい。

(委員C)

指定管理者制度については、去年の11月頃に交流センターから、まず、現在指定管理を取り入れている自治体に研修に行くということで誘いを受けた。

私自身も指定管理者というのはどういうものか全く把握していなかったため、まち作り協議会の会長や各部の部会長を含めた総勢7名で山口県へ研修に向かった。

研修先の行政職員から話を聞くことができたが、NPO法人が運営されているところは、スムーズな運営ができている印象を受けた。

研修では4箇所ほど視察を行ったが、運営はNPO法人が主体的に行い、行政は後ろから少し支援する程度、中には行政側は退いている箇所もあり、各地域の実情に応じた対応策を行っているようだった。

自分たちの地域では役員会を開催し、指定管理を受けようと決まった。そのために、2年間は勉強しようと、今そういう状況になっている。

また、コロナ禍においては、住民運動会も開催できていないので、皆さんと交流ができなかった分、今後は更なる交流の場の提供という事で、ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、ボッチャ等）を取り入れた地域活性化を目指して検討を進めている。

指定管理者導入のメリットについては、利用料金を自分たちで設定できることなどがあげられる。

(委員B)

指定管理という新しい試みを反対するわけではないが、規約の作成や監査の対応などいろいろな準備がこの先必要になるということで皆さんの考えをお聞きしたく発言した。

(委員長)

貴重な意見をありがとうございました。

また場所を変えて検討していただけたらと思う。

	<p>以上をもって全ての審議が終了したため、午後 2 時 45 分に閉会を告げて解散した。</p>
<p>会議資料</p>	<p>令和 5 年度第 1 回 飯塚市公民館運営審議会資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会議次第 ② 飯塚市公民館運営審議会委員名簿・社会教育法（抜粋）・飯塚市公民館条例（抜粋）飯塚市の生涯学習体系について（令和 5 年 3 月作成） ③ 生涯学習課組織図及び所管事務 ④ 中央公民館事業計画 ⑤ 生涯学習課事業年間スケジュール
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 0 人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	